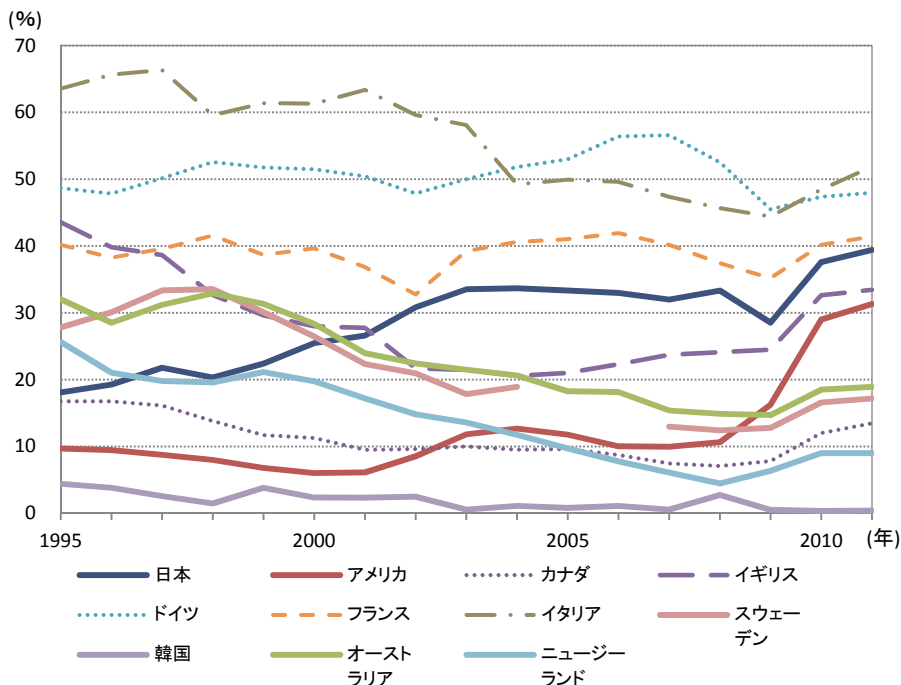


4-3 長期失業者の割合



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第4-5表 長期失業者の割合(1年以上)」(p.140)を参照。
(注) スウェーデンの2005年, 2006年値はなし。

各国ごとに統計上の失業者の定義が異なるため厳密な比較はできないが、失業者に占める長期失業者の割合は、ドイツ、イタリアなど欧州大陸主要国で高く、2011年の1年以上の長期失業者の割合が約5割となっている。また、米国でも1年以上の長期失業者の割合は2009年の16.3%から2011年の31.3%へと急速に上昇した。他方、韓国では1%未満とかなり低い。

こうした動向の背景には、各国の経済成長率の差異等の景気動向のほか、雇用慣行や政策制度面での差異など構造的な要因も影響していると考えられる。